

キッズデザインの推進

— Through Kids Eyes —

「あぶない」の科学
子どもの事故予防に向けたシンポジウム

2008年5月18日

経済産業省 デザイン・人間生活システム政策室
諸永 裕一



1. 安全知識循環型社会構築事業

キッズデザインの推進 ～ Through Kids Eyes ～

子どもの安全安心と健やかな成長発達につながる生活環境の創出を目指したデザインである『キッズデザイン』の開発・普及を推進いたします。

1. 安全知識循環型社会構築事業
2. キッズデザイン賞の創設
3. キッズデザイン協議会の発足

子どもの事故の実態

0～19歳の不慮の事故による死亡数（2006年） **1235人**
（全死因 6902人）

年齢階級別に見た死因順位

年齢	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
0歳	先天奇形等	呼吸障害等	乳幼児突然死症候群	出血性障害等	不慮の事故 148人
1～4歳	不慮の事故 206人	先天奇形等	悪性新生物	心疾患	肺炎
5～9歳	不慮の事故 169人	悪性新生物	先天奇形等	肺炎	心疾患
10～14歳	悪性新生物	不慮の事故 106人	自殺	心疾患	先天奇形等
15～19歳	不慮の事故 606人	自殺	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患

（2006年人口動態統計）

子どもの事故の発生頻度

3歳までに、医療機関にかかったり、相談したりするような事故を **8割程度** の子どもが経験している。

生後3歳3ヶ月まで医療機関にかかったり、電話などで相談した事故の経験人数
（6300人に調査を1000人あたり換算）

事故の種類	発生人数	事故の種類	発生人数
落ちた	223.7	はさまれ	58.9
転んだ	129.5	おぼれ	22.4
やけど	125.7	交通事故	16.2
誤飲	99.9	窒息	3.3
ぶつかった	76.9	その他	35.3

1000人 あたり のべ **791.8** 人に発生
（1995年兵庫県調査）

子どもの事故に対する認識

子どもの“不慮”の事故といわれるものの中には、予測可能で未然に防ぎえたものもある。

これまで事故は

Accident

（予測できない、
避けられない事故）

でも子どもの事故の多くは

Injury

（予測ができ、
予防可能な事故）

まず、事故に対する意識を変えることが必要。

子どもの事故は、**子どもがユーザとして想定されないもの**でも起こる。

子どもの事故に“**誤使用**”という概念はない。

子どもの事故は誰の責任？



子どもの事故の原因は、周囲からも、そして親自身も、「親が目を見失ったから」、「親が注意を怠ったから」と、思ってきた。

子どもの事故は **親の不注意**

したがって、対策は・・・

親が **「気をつける」、「子どもから目を離さない」**
事故が起きてからの **「応急処置・治療・リハビリ」**

これでは、事故の発生頻度は変わらない。

そこで、

事故や事故の予防策などの情報を、保護者、保育士、メーカー、医師、行政などで共有し、社会全体で予防策を講じることを目指す。

情報共有がなされていない子どもの事故



子ども用の衣類が関係し、「危害・危険・ひやり・ハットしたことがある」消費者の中で、その発生原因が「衣類に何らかの問題があった」「衣類の表示・取扱説明書に問題があった」と感じている人において、その苦情を **メーカーに伝えた人は2.4%** に過ぎず、**96.0%の人がどこへも言っていない。**

子どもの衣類による危害等の原因が「衣類・表示・取扱説明書の問題による」と考える人の苦情の申し出先 (回答数297：複数回答可)

苦情の申し出先	%
どこへも言わなかった	96.0
メーカー	2.4
販売店	1.7
消費生活センター	0.3
遊具等の施設等を管理している店・役所等	0.0
分からない	0.7

(2006年東京都調査)

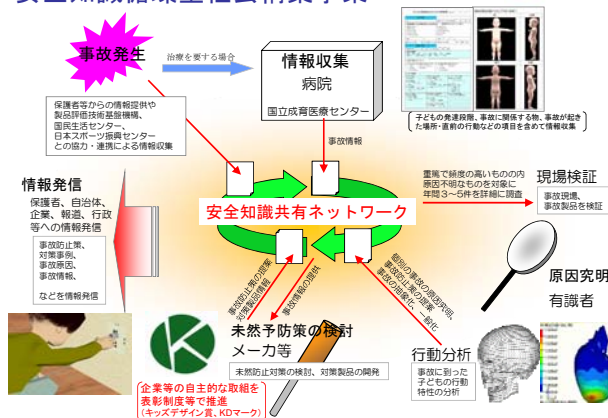
参加型の安全知識循環型社会の構築



子どもの事故情報と事故の未然防止に関する情報を、社会に発信する。メーカ、自治体、保護者、保育・教育の関係者などが、その情報を活用し、事故の未然防止に取り組む。さらにその取組を通じて新たに分かった情報も共有しながら、安全知識の循環を目指す。



安全知識循環型社会構築事業



成育医療センターにおける事故データ収集



事故調査票を使って聞き取り調査を実施し、事故情報を収集。



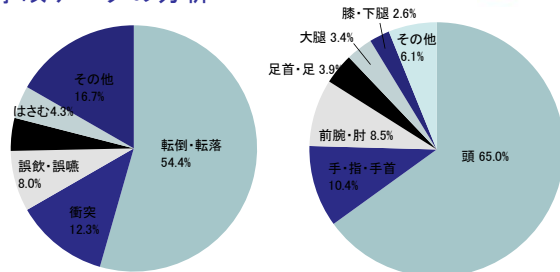
事故情報の収集状況
本事業期間(2007.9-2008.2) 1,112件
(2006年11月から2008年2月 2,304件)

救急部にて、調査項目

- 事故の種類
- 直前の行動
- 傷害の種類
- 傷害の部位
- 治療の種類

など23項目を記入

事故データの分析



データ:2,304件 (複合的な事故を含む2,496のデータを採用)

データ:2,304件 (身体部位情報がある1,628のデータを採用)

転倒・転落 54.4%(第1位)
頭 65.0%(第1位)
手・指・手首 10.4%(第2位)

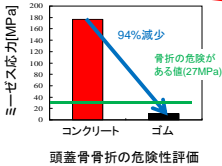
転倒・転落シュミレーターの開発
頭部傷害シュミレーターの開発
指はさみシュミレーターの開発

転倒・転落事故の検証・分析



事故事例

1歳11ヶ月の女児が「すべり台」からの転落事故によって頭部外傷(頭蓋骨骨折と硬膜外血腫)を負った事例に関して分析。



分析の結果
頭部が傷害を受ける可能性のある接地面をコンクリートからゴムに変えると、頭蓋骨にかかる力は94%減少し、重篤な頭部傷害に至る危険が大幅に減ることが分かった。

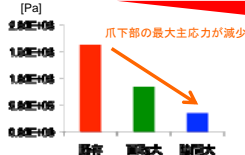
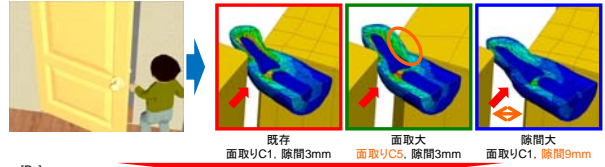
指はさみ事故の検証・分析



事故事例

事故事例の多いドアでの指はさみ事故に関して分析。

- ①事故状況の再現
- ②指はさみシミュレータによりドアの形状、取り付けの隙間寸法の違いによる影響を分析(大人の指の寸法(幅17mm、厚さ14mm)で実施)



分析の結果
今回の分析は大人の指を模擬したものであり、数値的な結果は参考的な指標であるものの、傾向としては、形状を丸くすることや、ドアと壁の隙間を広げることにより、指にかかる力を軽減できることが分かった。

情報発信サイト 「キッズデザインの輪」の立ち上げ



○ 主なコンテンツ

- ・子どもの月齢や成長・発達に応じた典型的事故のCG映像
- ・収集した事故データの統計の閲覧・検索



事故予防コンテンツ



子どもの月齢や成長・発達に応じた典型的事故の状況をCG映像により情報発信を行うことにより、分かりやすく事故予防に向けた注意喚起や、メーカー等による事故予防策の推進を図る。



2. キッズデザイン賞の創設



キッズデザイン賞 KIDS DESIGN AWARD



子どもの安全安心と健やかな成長発達につながる生活環境の創出を目指したデザインである **キッズデザイン** に優れた製品・取組等を表彰する『**キッズデザイン賞**』を2007年度より創設しました。

第1回となった2007度は、287点の応募をいただき、その中から、キッズデザイン大賞などの特別賞と共に、キッズデザインマークの使用が認められるキッズデザイン賞の受賞作品121点が選出されました。



- キッズデザイン大賞 1点 (経済産業大臣賞)
- 金賞 (テーマ賞) : 6点 (経済産業大臣賞)
 - ・セーフティデザイン賞
 - ・共創デザイン賞
 - ・感性創造デザイン賞
 - ・エコデザイン賞
 - ・社会教育デザイン賞
 - ・マタニティデザイン賞

キッズデザイン大賞（経済産業大臣賞）

子どもの安全に関する実証データを活用した商品・施設等の総合的なデザインに最も優れたもの

安全な子ども環境への取り組み
／（株）ジャクエツ



セーフティデザイン賞（経済産業大臣賞）

安全な環境のデザインに特に優れたもの

キンダーマーカーたぶっこ / （株）フレーザー館



キッズデザイン賞 受賞作品の一例



3. キッズデザイン協議会の発足

キッズデザイン協議会 <http://www.kidsdesign.jp/>

子どもの安全・安心の向上、健やかな成長発達が見込まれる社会づくりを目指し、企業・団体、自治体等が自主的に業種を越えて集い、2006年5月に設立。2007年4月より**特定非営利活動法人（NPO）キッズデザイン協議会**に認証。

78の企業や自治体（52社、13自治体、13団体）
2008年5月13日現在

調査研究事業

- ・子ども事故サーベイランス研究会
- ・子ども身体特性計測研究会
- ・子どもまもり研究会
- ・次世代育成プログラム研究会
- ・子ども住空間研究会

顕彰事業

- ・「キッズデザイン賞」事業

広報事業

- ・イベント事業



キッズデザイン博2007 2007年8月9日～11日 @TEPIA（東京都港区）

- ・キッズデザイン賞受賞作品の展示
- ・子どもたちの感受性・創造性を育む様々なワークショップの開催
- ・安全安心の向上に向けたシンポジウムの開催

3,000名を超える来場者



巡回展の開催



キッズデザイン展2007 in OSAKA

2007年11月16日～18日
@そごう心斎橋本店14Fギャラリー



1,500名を超える来場者



キッズデザイン展2007 in くまもと

2007年11月17日～23日
@ひふれす広場



キッズデザイン協議会の 安全の向上に向けた取組

子どもの身体寸法計測 / 「はかって!はかって!」

安全で快適な生活の実現に向けた製品の開発・設計を促進するため、身長、肩幅、指の寸法などの身体計測を、全国各地の幼稚園、保育園やキッズデザイン協議会のイベント等で実施。
(子どもの身体寸法データベース <http://www.hqj.jp/research/before/068.html>)

店舗調査プロジェクト

子ども目線・子ども視点から、また、キッズデザイン協議会会員の専門的な視点から、店舗における危険箇所の調査を実施。



はかって!はかって!(HQL)

安全な学校づくりワークショップ

「子どもたちによる安全な学校づくりワークショップ」を実施。

(公募により、柏市立花野井小学校(千葉県)での開催が決定)

“キッズデザインの日” 制定



- ・子どもたちの安全安心の向上と健やかな成長発達の推進に向けて **子ども目線で社会を見つめ直す日**
- ・子どもたちの無限の可能性を再認識する日

として、毎年8月8日をキッズデザインの日と決めました。

ひなまつり
3月3日

+

子どもの日
5月5日

=

∞ (無限大)

8月8日 = キッズデザインの日



キッズデザイン博2008について

8月4日(月) ~ 8月10日(日)

『キッズデザイン博2008』
@ TEPIA プラザ (東京都港区北青山)

- ① キッズデザイン大賞・金賞・部門賞等の発表
 - ② キッズデザイン賞の受賞作品の発表・展示(見て触れる)
 - ③ 親子が選ぶキッズデザイン
 - ④ 親子で遊び、作り、学ぶ、参加型ワークショップ
 - ⑤ キッズデザインシンポジウム
- 等

を行う、『キッズデザイン博2008』を開催いたします。